

## 【報告】次期「基本構想（案）」にかかる市民意見募集の結果について

### 1. 概要

本市では、まちの将来像や方向性を描く総合基本計画（基本構想・基本計画・実施計画）がいずれも令和7年度末に計画終期を迎えることから、令和5年度より新たな計画策定に着手。

この度、次期「基本構想（案）」にかかる市民意見募集を実施し、市の考え方を取りまとめた。

(1) 募集期間：令和6年6月21日（金）～令和6年7月21日（日）

(2) 提出意見：19件（11通）

<意見内訳>

意見項目	件数
①文言の修正にかかるもの	9件
②意見収集の手法にかかるもの	4件
③未来への承継にかかるもの	2件
④具体的な施策にかかるもの	4件

### 2. 意見募集を行った次期「基本構想（案）」

別紙1のとおり

### 3. 意見の概要と市の考え方

別紙2のとおり

### 4. 今後の予定

- ・令和6年11月議会に次期「基本構想（案）」を上程

#### （参考）これまでの経緯

令和6年3月19日	次期「基本構想（素案）」をとりまとめ、 総務財政委員会にて報告
4月19日	第1回神戸市総合基本計画審議会（諮問・審議）
6月6日	第2回神戸市総合基本計画審議会（審議）
6月21日～7月21日	市民意見募集実施
8月29日	第3回神戸市総合基本計画審議会（答申案審議）
9月9日	神戸市総合基本計画審議会より答申書受領

## 次期「基本構想（案）」

神戸は、海と山に囲まれた  
美しいみなとまちです

開港以来、海外との交流を重ね

文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、多彩な表情を見せるまちです  
都会と里山の共存

洗練されたまち並みと下町の活気

まちに溶け込む坂道も

毎日違う風景を見せてくれます

神戸は、人間らしい

あたたかみのあるまちです

幾度となく困難を乗り越えた絆

多様性があふれる開かれた気風

いつでも神戸は

すべてのひとをやさしく包み込みます

これまで神戸には多くのものが

受け継がれてきました

これからも神戸は

世代や立場を超えた繋がりの中で

広く内外に貢献し

未来に向けて進んでいきます

培ってきた技術と知の集積により

時代を彩る産業とひとが育つまちへ

世界を臨む海や空からひとが集い

新たな価値の創造を実現するまちへ

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら

それぞれの夢に挑戦できるまちへ

豊かな自然とひとの営みが織りなす

一人ひとりが幸せを感じられるまちへ

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み  
次代に紡いでいきます

## 次期「基本構想（案）」にかかる市民意見の概要と市の考え方について

※ご意見の内容は趣旨を損なわない程度に要約しています。

## ①文言の修正にかかるもの

	意見の概要	市の考え方
1	<p>全体的にぼやけており、何が言いたいかわからない。</p> <p>京都市の基本構想は、哲学者が取りまとめであり、読み応えがあつて心に響く内容である。神戸市も、市内在住の作曲家など、神戸に所縁のある有識者の協力を得て、ブラッシュアップして欲しい。</p>	<p>特定の有識者に依頼する手法もあるが、本市では有識者 25 名による審議会に次期「基本構想（素案）」を諮問し、それぞれの専門的な見地を踏まえた修正を重ねている。今後も有識者の意見を踏まえて改善していきたい。</p>
2	<p>6 段落目後半の「豊かな自然とひとの営みが織りなす 一人ひとりが幸せを感じられるまちへ」は繋がりが悪い。「豊かな自然と人の営みが織りなす」ものは何か。次の 3 案を提案したい。</p> <p>①豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを感じられるまちへ ②豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを一人ひとりが感じられるまちへ ③幸せを一人ひとりが感じられる 豊かな自然とひとの営みが織りなすまちへ</p>	<p>6 段落目では、神戸が、豊かな暮らしを実現できるまちとしてありたいという思いを表現。</p> <p>ご指摘の「豊かな自然と人の営みが織りなす」と「一人ひとりの幸せを感じられる」の 2 つの文章は、いずれも「まち」を説明。本市がまちづくりで重要な観点と考える「一人ひとりの幸せを感じられるまち」を強調するため、現在の構成とした。</p>
3	<p>神戸には街の個性を失ってもらいたくない。個性を育むと、市民等はまちに誇りを持ち、まちの発展等への応援にも繋がる。</p> <p>現在、多くの街で、経済発展を重視したことで、似たり寄つたりの街並みが形成されている。今後、基本計画等を策定する中で「神戸の個性が育まれる計画になっているか」と立ち返れるよう、7 段落目に「個性」の要素を追加し、「いつまでもまちの個性と誇りを育み」として欲しい。</p>	<p>神戸が独自の文化等と発展してきた経緯を踏まえると、「個性」の視点は非常に重要。</p> <p>次期「基本構想（案）」は、前半で『先人から紡いできた神戸ならではの「まちやひとの魅力」』、後半で『これらを活かしながらい目指していく「未来のまちにむけた方向性」』を表現。</p> <p>第 7 段落目の「誇り」には、市民等の神戸への愛着のほか、「先人たちが築きあげてきたまちの魅力（＝個性）」も含まれている。</p>
4	<p>第 1 段落の「文化や流行を日本に生みだしてきました」を「長く市民に愛される文化や流行を育んできました」に修正。</p> <p>神戸が文化を「生み出した」というのは語弊で、市民文化の起点として海外交流があったとするのが正確。</p>	<p>神戸は海外からの文化や流行等を取り込み、市民に広げてきた功績もあるが、その一方で海外文化を独自にアレンジし、新しい文化や流行として生み出した歴史もある。</p>
5	<p>第 2 段落の「まちに溶け込む坂道も」を「まちに溶け込む坂道も（改行）海と空を吹き抜ける風も」に修正。</p> <p>この段落に「海」に関する描写がないことはおかしい。</p>	<p>次期「基本構想（案）」は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成。</p> <p>「海」は第 1 段落で既に使用。</p>

6	<p>第3段落の「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「命と暮らしを奪った災害の中でも支え合う人々」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神淡路大震災等の自然災害を直接的に書くことで、街の歴史に与えた意味合いを残すべき。</li> <li>・「絆」があるから災害時に助け合ったのではなく、自身と同じ理不尽な境遇に置かれた人を見捨てることが出来なかっただけではないか。ここで使うならせめて「つながり」では。</li> <li>・困難を「乗り越えた」というのはまだ時期尚早。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この「困難」には、自然災害のほか戦争や感染症等も包含。</li> <li>・以下の①②より「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「ともに困難を乗り越えていく絆」に修正。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「絆」は、これまで神戸が様々な困難を乗り越えてきた中で、その存在に気付いたり、新たに築かれた人々の結びつきを示し、今後も神戸に関わるすべての人と「ともに」あることを表現。</li> <li>②「乗り越えていく」の表現は、これまで発生した困難や、これから発生しうる困難を「ともに」乗り越えるという強い意志を表現。</li> </ul> </li> </ul>
7	<p>第4段落の「すべてのひとをやさしく包み込みます」を「この街に関わるひとをやさしく包み込みます」に修正。</p> <p>「すべてのひと」が神戸市民を指すのか、神戸に直接間接に関わる人を指すのか、全人類を指すのか、明確にすべき。</p>	<p>「すべてのひと」とは、神戸のまちに関わるすべてのひとを指している。</p>
8	<p>第5段落の「世代や立場を超えた繋がりの中で 広く内外に貢献し」を「考え方やあり方を超えて繋がり 広く国内外に貢献し」に修正。</p> <p>世代や立場という内政的な視点ではなく、思想信条や立場、人種や言語を含むコスモポリタンな言い方に変えるべき。そうであるならば、後段は必然的に「国内外」とすべき。</p>	<p>思想信条や立場、宗教や経済階層、人種や言語といったコスモポリタンの視点を、『世代や立場を超えて』で表現している。</p> <p>また、貢献の対象については、神戸市の近隣都市等との繋がりも考慮したうえで「内外」と表現している。</p>
9	<p>第6段落の「培ってきた技術と知の集積により」を「培ってきた技術と知と文化の集積により」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済発展の段落には、生活産業、娯楽産業、文化・芸術産業、スポーツ産業の視座は必要。また、経済発展の目的が、より豊かな文化的な暮らしの実現であることも忘れてはならない。</li> <li>・そうすると、「培ってきた…」 「時代を…」の2行の間に、「文化が香る心豊かな暮らしをつくり」といった行が必要では。</li> </ul>	<p>第5段落は、産業等の発展に関する部分で、まちの力強さを表現。</p> <p>ご認識のとおり、経済発展の目的は文化的な暮らしの実現であると考えており、第6段落で個々の暮らしの豊かさを表現している。なお、次期「基本構想（案）」は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成。</p> <p>「文化」は、既に第1段落で使用し、第4段落でそれを受け継ぐ表現としている。</p>

②意見収集の手法にかかもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>次期「基本構想(案)」の作成にあたり、市民へアンケートを実施したとのことだが、ネットモニターをはじめに現在神戸市で行っているアンケート等の調査は、対象の母集団の特性(年齢性別等の人口比率)が反映されておらず、標本としての信頼性が皆無。</p> <p>全アンケートをやり直し、信頼できる標本を抽出したうえで、再度構想を検討して欲しい。</p>	<p>多くの神戸に関わる方々による参画を得るため、対象を特定せず、ホームページやSNS、広報紙等により広く発信しながら、アンケートやワークショップ等を通じ、約25,000人(ほか小中学生約35,000人)から、「神戸のまちやひとの魅力」などの意見を収集した。</p> <p>【参考】令和5年度の皆さんの参画状況等  <a href="https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/kihonkeikaku.html">https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/kihonkeikaku.html</a></p>
2	<p>次期「基本構想(案)」の内容が空疎で抽象的。共感も反感も抱けず、神戸市が何をしたいのか伝わらないため、ただただ戸惑いを覚える。</p> <p>「なぜ今、神戸市で総合基本計画が必要なのか？」を明確にして、市民に喧伝すべきではないか。</p> <p>&lt;補足&gt;</p> <p>次期「基本構想(案)」は、ミクロとマクロ、手段と目的が混在している。これは担当部署がロジックツリーを作っていない、もしくはロジックツリーを作ったものの「原因分析」「問題解決」が混在し未完成なため。担当部署は今一度ロジックツリーを作成し、公開して欲しい。</p>	<p>次期「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争等の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を、市民等の皆さまからいただいた意見をもとに、端的なメッセージとして整理するもの。策定後は、市民等への周知のほか、神戸のまちの魅力等を対外的に示すシテプロモーションにも活用していきたい。</p> <p>なお、具体的なまちづくりの将来像や施策については、下位計画となる今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していく。</p> <p>また、「今、総合基本計画を策定する理由」は次のとおり。今後、しっかりと周知してまいりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合基本計画が、神戸市議会基本条例の議決事項や報告事項に定められており、いずれの計画も2025年に終期を迎えるため</li> <li>・激化する都市間競争や社会変容の中、進化する神戸のまちの将来像や方向性を示し、他都市との差別化やシビックプライドの醸成、シテプロモーションに繋げていくため</li> </ul>
3	<p>第1弾アンケートで「あなたの『神戸といえば〇〇やんなあ』を教えてください！(選択式)」という設問があるが、これは誘導的な設問で、回答者が「大事に思っていること」等を示す内容ではない。</p> <p>また、次期「基本構想」に反映する要素として、自由記述の意見が重要であるが、「主な意見集」では、市が自らの施策や思惑のために「市民等からの意見」を歪めてまとめているのが散見。例えば、『神戸の「まち」や「ひと」の魅力』では、ワードクラウドで「神戸愛」や「坂」等の記載がないにも関わらず意見集で取り上げられている。</p> <p>このように、次期「基本構想(案)」は、「市</p>	<p>第1弾アンケートでは、市で設定した神戸の魅力に関する25項目の評価を通じまちのイメージを膨らませた後、自由記述で『神戸の自慢できること』等を回答。25項目の評価と自由記述の回答傾向は概ね一致しており、自由記述の集約結果を中心に次期「基本構想」を検討。</p> <p>次期「基本構想(案)」は、アンケートの他、ワークショップや有識者による現行の基本構想から引き継ぐべき要素等の意見を取りまとめ、有識者25名からなる神戸市総合基本計画審議会にて修正を重ねたもの。</p> <p>使用する単語は、幅広いイメージができ、柔らかい印象のものを選定し、ワードクラウド</p>

3の 続き	の都合や思惑で市民等の意見が歪められたもの」と言え、疑義が生じたまま進めることはできない。再考が必要。	とは別の言葉に置き換えたものもある(例:震災⇒困難、旧居留地や異国情緒⇒洗練されたまち並み など)
4	<p>ホームページに「神戸のまちやひとの魅力」等の記載があり、次期「基本構想」の策定は「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」を調べたうえで進めるものと思っていたが、アンケートやワークショップの結果も学問的に活かさず、「大学都市」と標榜を掲げているにも関わらず、極めて古臭い市政が露わになっている。</p> <p>また、次期「基本構想」策定に向け、市の現状や過去の施策の課題等を明らかにせず、反映させてもいない(解決方針も示せていない)。</p> <p>大学の協力を得ながら、「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」の現状・課題等を明らかにした上で、解決する施策として次期「基本構想(案)」を作り直すべき。</p>	<p>次期「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争等の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして整理するもの。</p> <p>次期「基本構想」策定に向け昨年度実施したアンケートでは、第1弾で神戸の魅力を訴求し、第2弾で分析後の第1弾の結果を深掘りする設計とした。いただいた意見は、ワークショップ分も含め、テキストマイニング等により集計・分析し、次期「基本構想」を構成する要素を抽出。</p> <p>また、本市では、実施計画の推進の取り組みとして、毎年有識者による神戸2025ビジョン推進会議を開催。次期「基本構想(案)」は、当会議で出た現行の基本構想から引き継ぐべき要素等も踏まえて作成。</p> <p>市の現状や課題等を踏まえた具体的なまちづくりの将来像は、基本構想の下位計画で、今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年毎のアクションプランとなる「実施計画」で検討していく。</p>

③未来への承継にかかるもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>景色を想像でき、わかりやすい構想案に感じる。</p> <p>こどもまんなか社会や働き方改革、SDGsやゼロカーボンなど、世の中の潮流の変化とともに、神戸の雰囲気も移り変わると思うが、その中でも言葉だけでは伝承できない神戸のこれまでの歩みなどは、目に見える形で残っていった欲しい。</p> <p>例えば、ポートタワーを含む港の雰囲気、震災の名残や復興イベント、祭りや商店街などの活気など。</p> <p>新世代が古きを訪ね新しきを知るきっかけとなるよう、神戸で生まれ育った世代がいつでも懐かしさに包まれ安心できる故郷になることを願う。</p>	<p>これまでに、先人たちが築き上げてきた神戸のまちの歴史や風景等を守り、新たな時代の変化に柔軟に適応しながら、市民等の皆さまにいつまでもまちを誇っていただけるよう、これからもまちづくりを進めていく。</p>
2	<p>神戸は、世界的な港町で、イタリアやドイツに居る知人に「KOBEに住めていいね」と言われるのが私の誇り。50年、100年経ってもクリーンな神戸市政であって欲しい。</p>	

④具体的な施策に関わるもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>少子化による人口減少に伴い、市内の就労人口も減少する中、外国人労働者が神戸のまちで働き、生活が根付くように、以下の支援が出来ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人と同様の給与水準や福利厚生 の充実</li> <li>・日本人の高齢者（ボランティア）が、外国人との面接を通じてマッチングし、半年以上生活をサポート</li> </ul>	<p>この度の次期総合基本計画の策定に伴い、本市では、次期「基本構想」を、まちの基本理念として激化する都市間競争や社会変容の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして整理。</p> <p>具体的なまちづくりの将来像や施策については、基本構想の下位計画であり、今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していきたい。</p>
2	<p>新神戸駅周辺は、海外から多くの人 が降り立つ神戸の顔であるにも関わらず閑散。テナントの空きが目立ち食事処もない。AIシアターは、土日 も開いておらず、いつ営業しているのか分からない。</p> <p>三宮の混雑を避ける方向けに、隠れ家的カフェや子供が走り回れる芝生スペース、子供用トイレなど、ハード面の整備等ができないか。</p>	
3	<p>神戸は、外国人を歓迎する街として、そして外国人と日本人がチームとして友好的な関係を築く街として知られるべき。以下の内容について、改善して欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①日本人と外国人が交流する際に、外国人が日本語を話そうとするのと同じように、日本人も世界共通語である英語を話すか、通訳を利用</li> <li>②市から外国人への郵送物は、英語と日本語を併記。</li> <li>③市内の飲食店で、宗教上の理由等で食事に制限がある人向けのメニュー提供</li> <li>④外国人を対象とした、神戸の物流に関するオリエンテーション（日本人と外国人の団体が共催）を半年に一度開催</li> </ol>	
4	<p>郊外住宅団地では、バス等の公共交通の運行回数減少によって住民生活に大きな支障が生じている。次期「基本構想」の中に、早急に取り組むべき課題として郊外住宅団地の交通問題の解決を明記して欲しい。</p>	

『次期「基本構想」素案』  
に関する答申書

令和6年9月

神戸市総合基本計画審議会

令和6年9月9日

神戸市長

久元 喜造 様

神戸市総合基本計画審議会

会長 品田 裕

答 申

令和6年4月19日に貴職から諮問のありました『次期「基本構想」素案』について、慎重に審議を重ね、その結果をとりまとめましたので、答申いたします。

令和6年4月19日

神戸市総合基本計画審議会会長

品 田 裕 様

神戸市長 久 元 喜 造

諮 問

神戸市総合基本計画審議会規則第2条の規定に基づき、市政の総合的かつ計画的な運営を図るために長期的な展望に立って定める新たな総合基本計画について審議し、意見を提出されるよう諮問いたします。

# 目 次

答申の部

資料の部

## 答申の部

神戸は、海と山に囲まれた  
美しいみなとまちです

開港以来、海外との交流を重ね  
文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、多彩な表情を見せるまちです  
都会と里山の共存

洗練されたまち並みと下町の活気  
まちに溶け込む坂道も

毎日違う風景を見せてくれます

神戸は、人間らしい

あたたかみのあるまちです

ともに困難を乗り越えていく絆  
多様性があふれる開かれた気風  
いつでも神戸は

すべてのひとをやさしく包み込みます

これまで神戸には多くのものが  
受け継がれてきました

これからも神戸は

世代や立場を超えた繋がりの中で  
広く内外に貢献し  
未来に向けて進んでいきます

培ってきた技術と知の集積により  
時代を彩る産業とひとが育つまちへ  
世界を臨む海や空からひとが集い  
新たな価値の創造を実現するまちへ

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら  
それぞれの夢に挑戦できるまちへ  
豊かな自然とひとの営みが織りなす  
一人ひとりが幸せを感じられるまちへ

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み  
次代に紡いでいきます

## 資料の部

1. 次期「基本構想」素案
2. 次期「基本構想」素案からの変更点
3. 神戸市総合基本計画審議会 委員一覧
4. 審議経過

# 1. 次期「基本構想」素案

## 未来のまちに向けた方向性

神戸はいつまでもまちの“誇り”を育み、次代に紡いでいきます

⑦誇りを育むまち

世界を臨む海や空からひとが集い新たな価値の創造に挑戦し続けるまちへ  
まちの歩みとテクノロジーの融合によりグローバルに貢献するまちへ

⑥世界に発信・貢献するまち

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら、それぞれの夢を実現できるまちへ  
豊かな自然とひとの営みが織りなすゆとりある暮らしができるまちへ

⑤豊かな生活ができるまち

これまで神戸には多くのものが受け継がれてきました  
これからも神戸は世代や立場を超えた繋がりの中で未来に向けて進んでいきます

④“今”から“未来”へ

神戸は、人間らしい  
“あたたかみのあるまち”です  
幾度となく困難を乗り越えた絆  
多様性を認める明るい気風  
いつでも神戸は  
すべてのひとをやさしく受け入れます

③“今”の“ひと”の魅力

## まちやひとの魅力

神戸は、“多彩な表情を見せるまち”です  
都会と里山の共存  
洗練されたまち並みと下町の活気  
まちに溶け込む坂道も、  
毎日違う風景を見せてくれます

②“今”の“まち”の魅力

神戸は、海と山に囲まれた美しい“みなとまち”です  
開港以来、海外との交流を重ね、文化や流行を日本に生みだしてきました

①自然や歴史

## 2. 次期「基本構想」素案からの変更点

### 【基本構想全体】

○ダブルクォーテーションを削除

- ・「“みなとまち”」「“多彩な表情を見せるまち”」「“あたたかみのあるまち”」「“誇り”」

○読点を削除

- ・**【第1段落】**海外との交流を重ね<sub>、</sub>」「**【第2段落】**まちに溶け込む坂道も<sub>、</sub>」「**【第5段落】**助け合いながら<sub>、</sub>」「**【第7段落】**誇りを育み<sub>、</sub>」

### 【第3段落（“今”の“ひと”の魅力）】

○「困難」「絆」にかかる表現の修正

- ・「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「ともに困難を乗り越えていく絆」に修正。

○「多様性」にかかる表現

- ・「多様性を認める明るい気風」を「多様性があふれる開かれた気風」に修正。
- ・「すべてのひとをやさしく受け入れます」を「すべてのひとをやさしく包み込みます」に修正。

### 【第4段落（“今”から“未来”へ）】

○「貢献」にかかる記載位置の変更

- ・素案の第6段落目にある「グローバルに貢献」について、「広く内外に貢献し」に変更したうえで、第4段落目中の記載へ変更。

### 【第5段落（豊かな生活ができるまち）】

○「夢」にかかる表現の修正

- ・「それぞれの夢を実現できるまちへ」を「それぞれの夢に挑戦できるまちへ」に修正。

○「ゆとり」にかかる表現

- ・「ゆとりある暮らしができるまちへ」を「一人ひとりが幸せを感じられるまちへ」に修正。

【第6段落（世界に発信・貢献するまち）】

○「産業」にかかる要素の強化

- ・ 第5段落と第6段落を入れ替え。
- ・ 「まちの歩みとテクノロジーの融合により グローバルに貢献するまちへ」を「培ってきた技術と知の集積により 時代を彩る産業とひとが育つまちへ」に修正するとともに、第6段落の前段2行と後段2行を入れ替え。

○「価値の創造」にかかる表現

- ・ 「新たな価値の創造に挑戦し続けるまちへ」を「新たな価値の創造を実現するまちへ」に修正。

### 3. 神戸市総合基本計画審議会 委員一覧

(あいうえお順)

氏名	所属および肩書	分野
いいた ゆうき 飯田 裕生	連合神戸地域協議会 副議長	雇用対策
いしかわ のりこ 石川 路子	甲南大学 経済学部 教授	都市政策
いながき けんいち 稲垣 賢一	一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 理事	中小企業 (経営支援)
いわた かなみ 岩田 かなみ	株式会社W SoWeluコミュニティマネージャー	起業
うらしま りえ 浦島 理恵	インスタグラマー	広報戦略
おの せれすた まや 小野セレストア摩耶	同志社大学 社会学部 准教授	健康福祉
かのう みき 嘉納 未来	ネスレ日本株式会社 執行役員 (コボ° レトアフェア° ス° 統括部長)	外資系企業
かやま なお 佳山 奈央	La vie est belle株式会社 代表 (サト° プ° レイSPORTOを運営)	子育て
かわなみ ただかず 河南 忠和	神戸市会議員 (自由民主党)	市会議員
きゃくの たかし 客野 尚志	関西学院大学 総合政策学部 教授	地球環境・都市計画
くにひろ しょうじ 國弘 正治	西日本旅客鉄道株式会社 理事 (近畿統括本部・兵庫支社長)	社会インフラ
くぼ はるか 久保 陽香	有限会社Lusie (元 神戸地域おこし隊)	自然共生
さごう じゅん 佐合 純	iC株式会社 代表取締役	IT技術
しなだ ゆたか 品田 裕	神戸大学大学院 法学研究科 教授	全般
たかせ かつや 高瀬 勝也	神戸市会議員 (公明党)	市会議員
なかの みゆき 中野 みゆき	特定非営利活動法人 Oneself 理事長	多文化共生
なかむら こういちろう 中村 浩一郎	株式会社三井住友銀行 公務法人営業第二部長	経済情勢
ながさわ じゅんいち ながさわ 淳一	神戸市会議員 (日本維新の会 団長)	市会議員
はっとり こうじ 服部 孝司	公益財団法人神戸市民文化振興財団 理事長	文化芸術
ひだ あつこ 飛田 敦子	認定NPO法人コミュニティ・サ° -センター神戸 事務局長	地域コミュニティ
ふじおか よしみ 藤岡 義己	一般社団法人兵庫県中小企業家同友会 代表理事(株式会社 イ° エス° ランニング° 代表取締役)	中小企業
もりもと しん 森本 真	神戸市会議員 (日本共産党 団長)	市会議員
やました ゆうこ 山下 裕子	全国まちなか広場研究会 ひと・ネットワーククリエイター/広場ニスト	まちづくり
よこはた かずゆき よこはた 和幸	神戸市会議員 (こうべ未来 団長)	市会議員
わだ まりこ 和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部 准教授	人口減少社会

## 4. 審議経過

○第1回 令和6年4月19日（金）10時～12時

- （1）現行「基本構想」の振返り
- （2）次期「基本構想（素案）」について

○第2回 令和6年6月6日（木）13時～15時

- （1）次期「基本構想（修正案）」について

○第3回 令和6年8月29日（木）13時～15時

- （1）次期「基本構想」（答申案）について

※審議会会場はいずれも神戸市役所1号館14階大会議室